

令和元年度 西区ACP研修会（概論編） アンケート結果

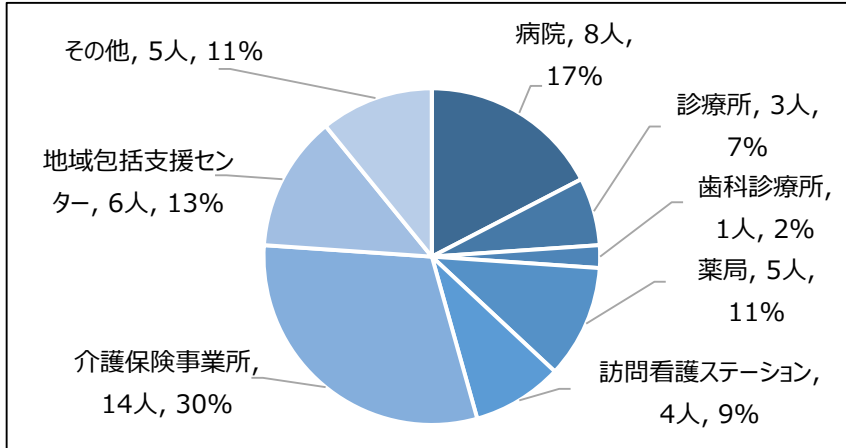
日時： 令和元年 9 月 7 日（土） 14:00～16:00

場所： 西区医師会館 2 階

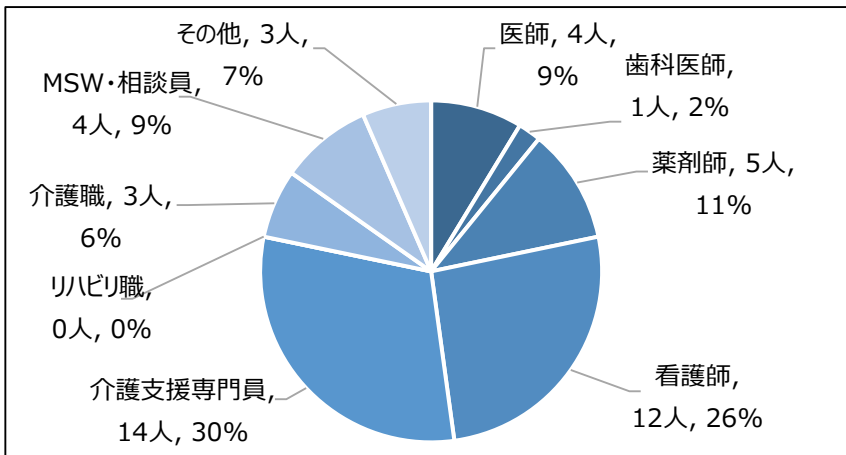
アンケート回収率： 92%(アンケート記入者46名/参加者50名)

1. 参加者ご自身について

①所属を教えてください

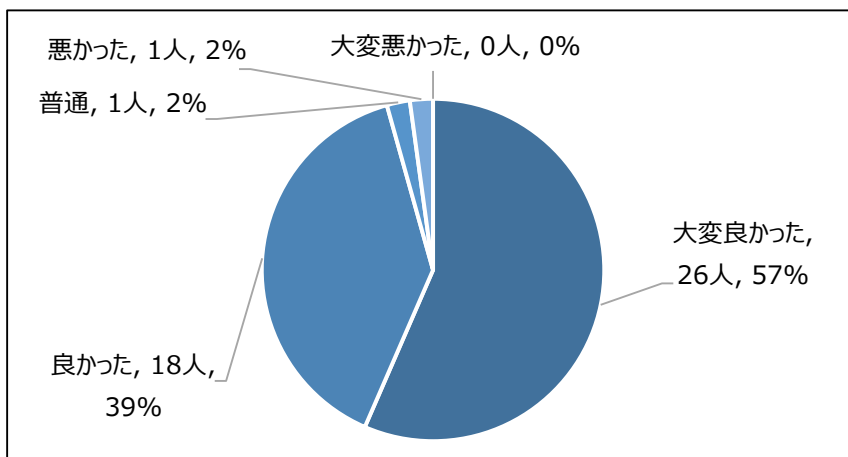


①職種を教えてください

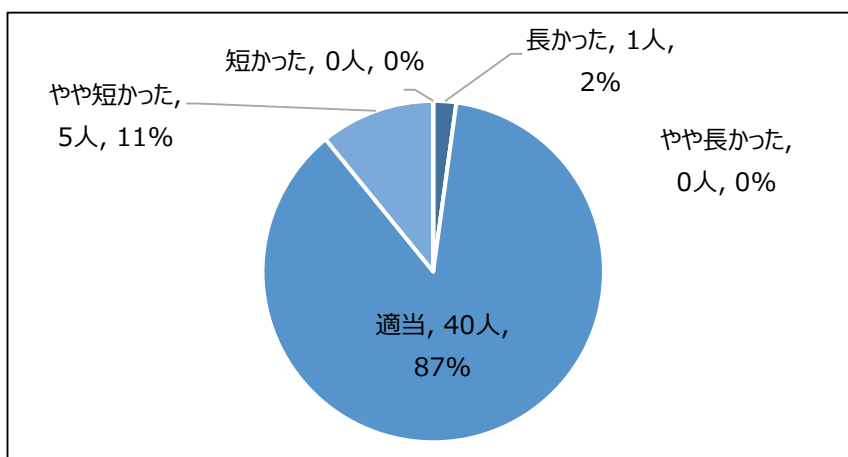


2. 講義（ACP概論）について

①内容はいかがでしたか？

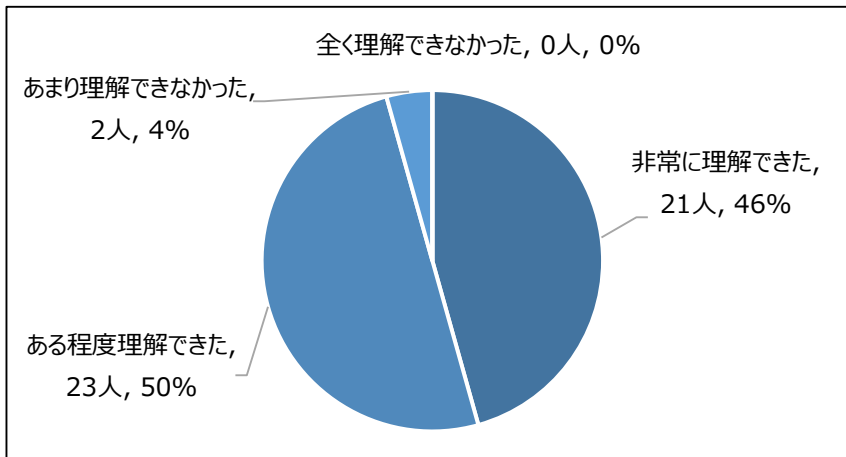


②時間はいかがでしたか？

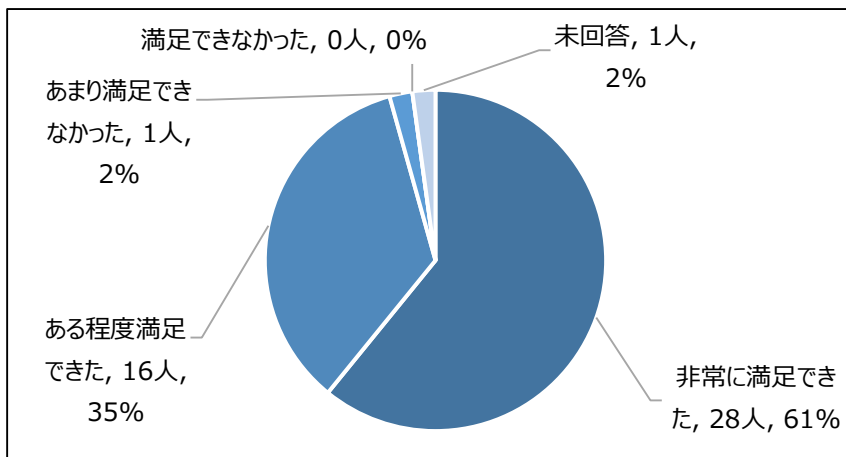


3. グループワークについて

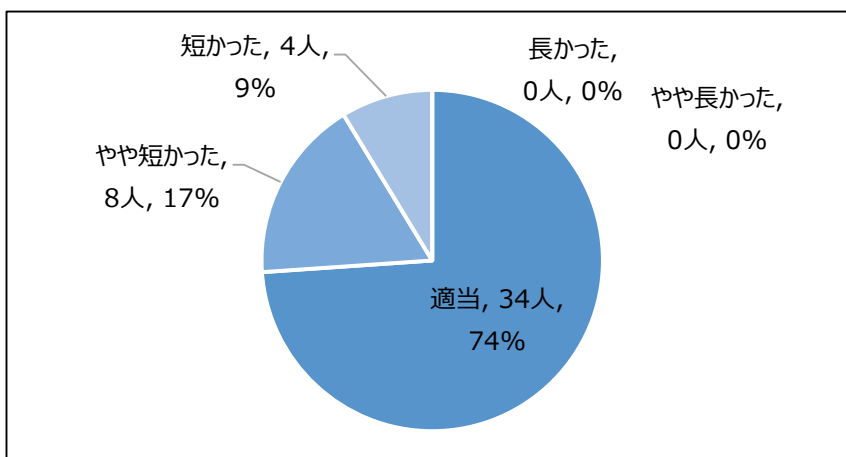
① ねらい（多職種チームによる意思決定支援/多職種の実践にACPが含まれていること）は理解できましたか



② ディスカッションは満足できましたか

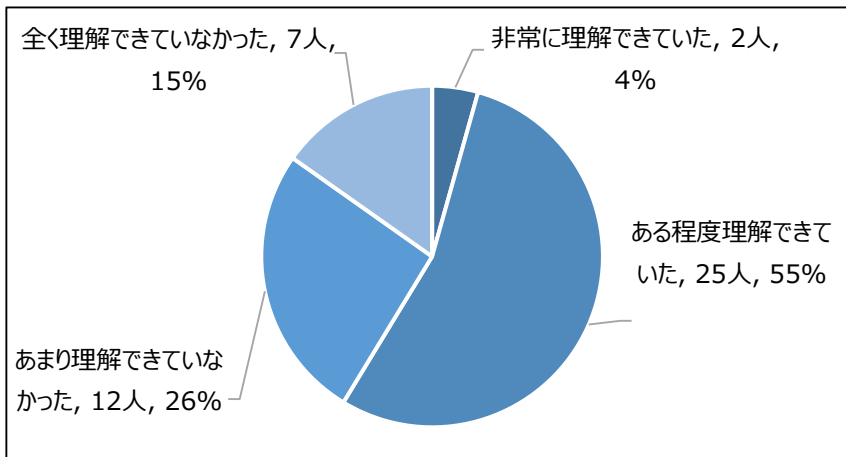


③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか

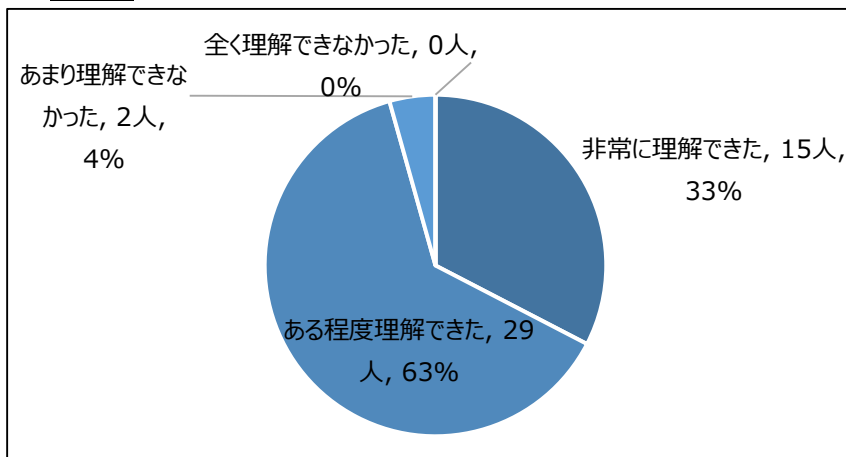


4. 本ACP研修会について

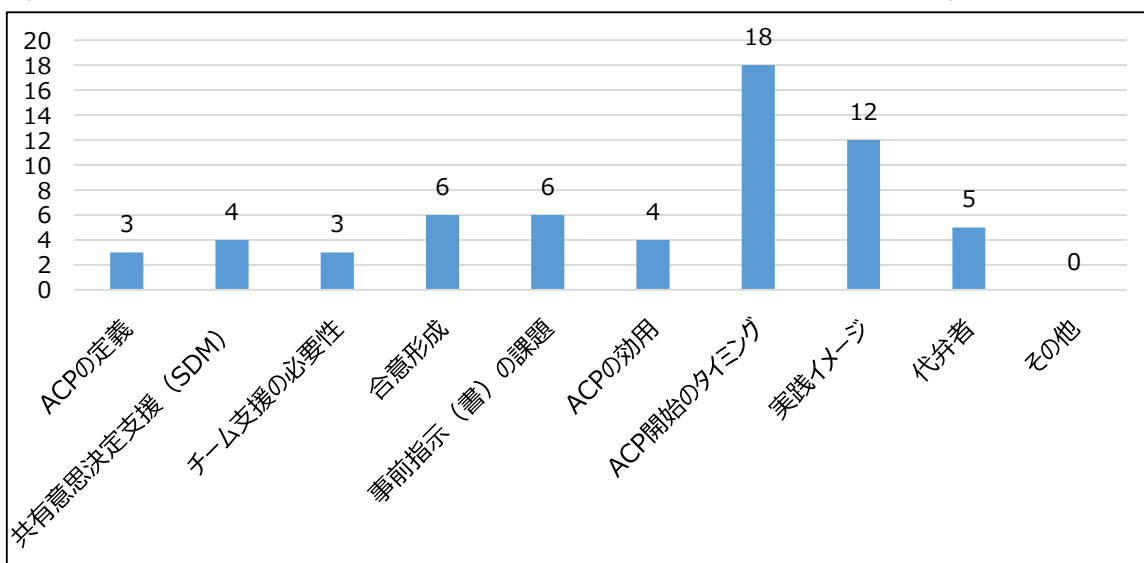
① 本研修会参加前のACPの理解についてお答えください



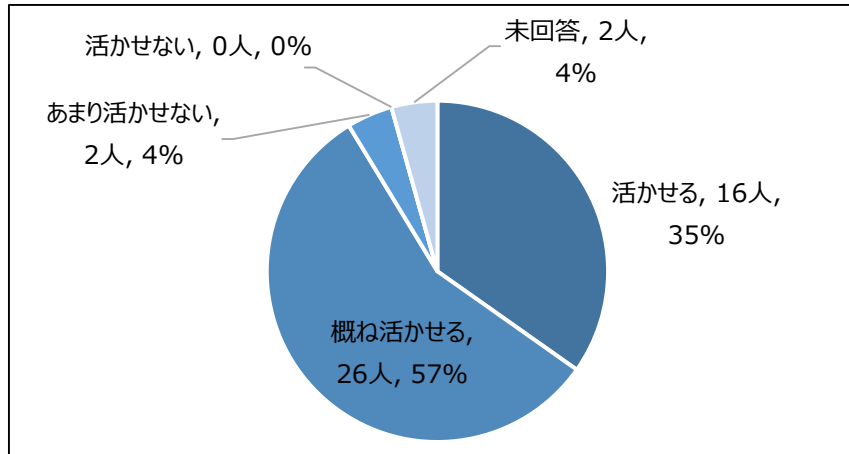
② 本研修会参加後のACPの理解についてお答えください



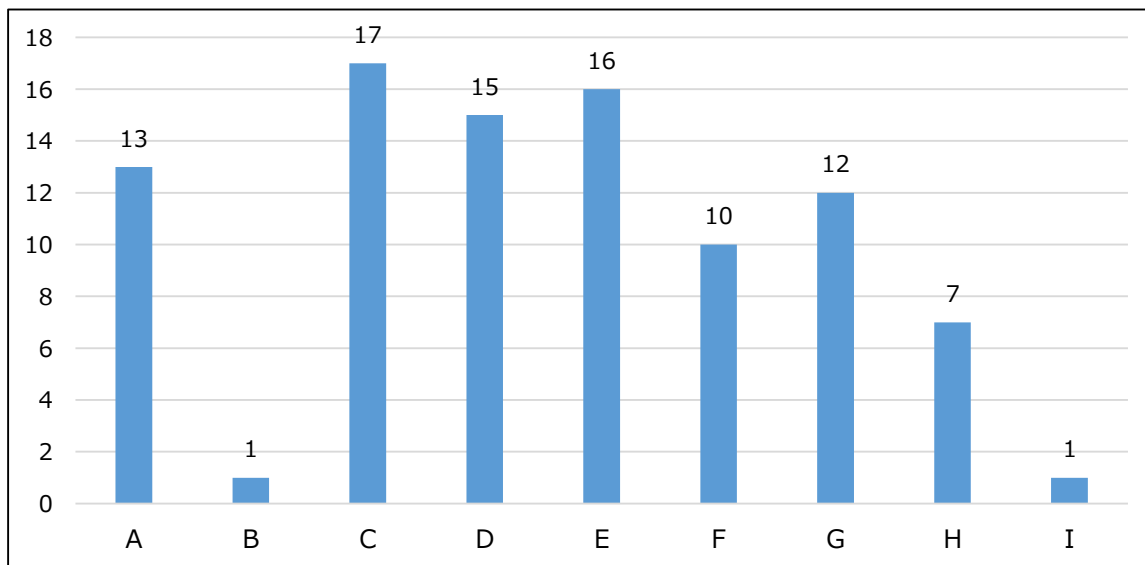
③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



- A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
- B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
- C: 日常業務の多忙
- D: 患者・家族・市民の無関心
- E: 始めるタイミング、きっかけ
- F: 言葉かけの手法、技術
- G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
- H: 信頼関係の構築
- I: その他

5. 本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください

- ・活発な意見交換ができてよかったです。
- ・考えていくのに良いきっかけとなりました。
- ・1ケースでもいいので、事例（ACPをしながら看取ったケース）があると、一般市民にもわかりやすいと思うので、はち丸在宅支援センターさんで事例を収集して、来年度以降で市民向け講演会（シンポジウムでもいいかも）やりませんか？
- ・「ACP」という言葉も知らず、研修会に参加しました。今回「ACP」のことを知り、とても大切なことで、今後、私たちだけでなく、全ての人々に認知され、考えていかななくてはいけないことだと思いました。
- ・薬剤師として、多職種の方のお話をうかがい、介護保険でどこまでのことを行ってもらえ、この後の生活を支えてもらえるのかを一つの窓口として患者様に行っていけると良いなと思いました。それをきっかけとして今後の事も考えられる様に支援できるようにしていきたい。
- ・様々な職種の方の現状を聞き、イメージの共有ができたことがよかったです。
- ・実際のケースを例に具体的にどんな言葉かけをしたらよいのか、どんな考え方をしたら良いのか実践練習できたらいいと思いました。
- ・多職種の話し合いが出来る機会は非常にありがたいです。こういったつながりが今後の在宅での生活がより安心なものになっていくのかと思います。
- ・本人の意思を尊重したくてもできない難しさを感じました。
- ・ACP介入のタイミングの助言が欲しい。また、介入方法など
- ・参加させて頂きとても皆さんの意見参考になりました。顔の見える関係大切ですね。
- ・介護保険の今後について、医療保険のしくみについて勉強会があると良い。
- ・講師の私的な意見も講義の中で聞けて良かった。これからも、櫻井先生の講義を望みます。
- ・在宅医療・在宅介護を支える福祉職として「多職種」の中に障害分野の介護をプランニングする相談支援事業所の相談支援専門員が漏れているのではないのでしょうか。是非、基幹相談支援センターや特定相談支援事業所も在宅医療との連携チームに入れて頂けるといいです。又、引き続きやっていただけると他の障害分野のスタッフにもお声かけさせていただけるとおもいます。
- ・多職種の話を聞くことができ、非常に貴重な時間であった。病棟NSという立場がいかに考えがたよっているかわかった。情報共有の大切さが分かった。
- ・多職種での話し合いができたのでとてもよかったです。ACP作成にあたって定型文があると作成しやすいと思いました。

・専門職として皆、日々の業務の中でACPを行っていたのだと思うので、それを共有して展開していくことを意識していかなければと思った。どんなステージでもACPの対象であるため、住民向けの普及啓発も必要と感じました。

・短い時間の中で、他職種の方からの意見や気づきが聞けて良かったと思います。堅苦しくなくなごやかな雰囲気の中かでできたことも良かったです。

・多職種の方とお話できることで視野が広がります。立場が違っていると感ずることも違うのでこういった機会があるとより連携ができると思います。

・多職種の方と関わり、ディスカッションすることができ、とてもさまざまな意見を聞くことができた。今後に活かしていきたいが、まだ実践できるほどの理解と勇気と行動力がないと思ってしまう。引き続き学び考えていきたいと思う。難しいとおもうと、それにつながる思考、行動に無意識になる。出来る方法を考えていきたい。

・西区の研修会であり、聞いたことのある施設のスタッフの方と、話し合いができて良かった。西区のACPの進め方が聞けて良かった。話し合う事例を増やしていただけたら…勉強になるので。

・ACPのタイミングについてはいろいろ意見があり、いつれのタイミングも必要だと感じた。その時その時でその人の考えも変化すると思われ過去・現在・未来とその変化を記録していくことの必要性も感じた。具体的にこれまで意識したことはなかったが、日常でもあったかに思われます。多職種との連携もひとつの課題であるが、はち丸ネットを上手く活用できたらと思います。

・具体的テーマでのディスカッションがおもしろかった。

・ACPのテーマが理解できました。

・ありがとうございました。